

# 保 健 体 育

## 第 1 節 概 要

第 2 次福島県長期総合教育計画及び第 1 期実施計画に基づき、保健体育課においては、重点施策の一つである「健康と体力づくりを図る社会体育の推進」を中心に、体育、保健・安全、給食の各分野において相互に連携を密にしながら各施策の推進を図った。その概要は次のとおりである。

### 1 学校体育の充実

学校体育担当教員の資質の向上と、児童・生徒の体力の向上をめざして、各種体育実技講習会を開催するとともに、文部省指定の「体力づくり推進校」「格技指導推進校」・県教委指定「体力づくり研究推進校」の実践研究及び公開発表、ならびに学校体育指導の手引き（養護教育編）の発刊等、指導資料の作成・提供に努めた。

さらに、スポーツテストを小学校低・中学年まで対象をひろげ、全県下全児童・生徒について実施し、運動能力・体力の実態把握に努めたほか、小学校の新指導要領完全実施に引き続き、中学校・高等学校担当教員への新指導要領の趣旨徹底講習会を実施し、その趣旨徹底を図ったので、昭和56年度（中学校）昭和57年度（高等学校）からの円滑な移行が期待できる。

### 2 学校保健の振興

学校における保健教育、保健管理の充実を図るために学校保健関係教員を対象として、保健主事講習会（県内 3 地区）、保健安全指導者資質向上講習会（県内 3 地区）、児童・生徒疾病異常対策研修会（県内 2 地区）、新任養護教員研修会（県教育センター）、養護教員経験者研修会（県教育センター）、及び中堅養護教員研修会と合わせて昭和55年度北海道・東北ブロック養護教諭実技講習会（県海浜青年の家）等の講習会、研修会を開催し、資質の向上に努めた。

また、教職員、児童・生徒の健康管理に努めるとともに、学校保健委員会の設置促進と活動の活発化を図り、学校保健の充実に当たった。特に昭和55年度から県立学校教職員の健康診断における成人病関係検診該当年齢を35歳以上に引き下げ疾病等の早期発見を図った。

### 3 学校安全の徹底

安全教育、管理の強化を図るため、保健・安全指導者資質向上講習会（前掲）交通安全指導者講習会（県内 3 地区）、高校生二輪車安全運転実技講習会（54校 3,598名）を開催した。また、高校生の二輪車安全運転を推進するための学校訪問（24校）を実施するとともに、高校生の二輪車安全運転の手引及び自転車・二輪車に関する指導を主とした高等学校・交通安全指導資料を作成して各高等学校に配布し指導の充実に努めた。なお、交通安全指導教具（県費補助 1 組 220,000円× $\frac{1}{2}$ ）の整備に努め、交通安全指導の充実を図った。

## 4 学校給食の改善充実

完全給食の実施状況は、前年と比較して 0.7ポイントの伸びで大きな変化はみられなかった。実施状況を児童、生徒数でみると小学校が96.6%で全国平均98.0%とほぼ同じであり、中学校は73.6%で全国平均58.2%を大きく上回った実施率となっている。

中学校の完全給食実施率は、小学校のそれを大きく下回っているので市町村、学校及びPTA等と連携を密にして、地域の特性に応じた完全給食の実施を積極的に推進していく必要がある。

米飯給食の実施状況は、県の米飯導入基本構想に基づき、昭和56年度を目途に週 2 回の米飯給食実施をめざし、関係機関と相互連携を密にして導入推進を図ってきた。その結果は前年に比較して実施率は 5.7ポイントの伸びがみられ、小・中学校平均米飯給食実施率は、92.7%となっている。

給食費は、一食当たり県平均小学校 179円49銭、中学校210円71銭で前年度に比較すると小学校で 8.6%、中学校で 7.0%の増額となっている。

なお、学校給食の適正な管理運営と改善充実及び給食関係職員の資質向上をはかるため、給食主任研修会、栄養職員研修会、調理研修会、米飯研修会等を開催し、それぞれ所期の目的達成に努めた。

また、給食物資は安全にして良質なものを安定した価格で年間を通じて購入できるようにするとともに父兄負担の軽減を図る必要がある。このため県学校給食会では、常に適正な物資在庫の確保、供給に努めた。

学校給食において懸念される食中毒等の事故防止のため、衛生、安全管理の徹底を図るべく文書、研修会等で指導し衛生思想普及の強化に努めた。

## 5 第 4 回福島県学校体育・保健安全・給食研究大会

幼児・児童・生徒の健康増進と体力の向上をめざすとともに学習指導の改善充実を図るため、学校体育、保健安全及び給食の調和のとれた指導等について総合的に研究を進めるため約 700名の参加を得て、原町市文化センターを主会場にして 2 日間の日程で開催し、所期の目的を達成した。

## 6 社会体育の振興

県民の多様化したスポーツ活動への欲求に対応するため、各種講習会、研修会を開催し、スポーツ活動指導者の養成と資質の向上に努めた。

また、県総合体育大会、県職場スポーツ大会をはじめ各種競技大会を開催し、県民スポーツの振興を図るとともに、国民体育大会及び東北総合体育大会に選手団を派遣して、競技力の向上と、県民意識の高揚に努めた。

更に本年度行われた各種国際競技大会に、5名の選手を派遣